

# For All



〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町 3-31-15 Tel. 06-6627-1977  
 URL http://www.npofa.net E-mail npofa@oct.zaq.ne.jp

特定非営利活動法人 エフ・エー

2017.5.25 発行

## 編集後記



今年還暦を迎えて、思うこと。

残りの人生の時間の短さ。その時間の中で何ができるのか？

何をしたいのか？60年も生きてきたのに、迷いの日々・・・

「マイウェイ」にあった歌詞「すべては心の決めたまに♪」が胸に響く(よ)

## さろん・事務局日誌

7	23	生野区共生セミナー 出席
	26	王子商店街夜市 参加(F)
8	20	東成サロン講座 出席
9	14	大阪商工信金受賞団体交流会 出席
	16	居宅支援事業者連絡会 出席
	23	大阪市立大学学生実習受け入れ 30名
	29	えがおコンサート(F)
10	3	「こももネット集いのひろば」オープン訪問
	16	エフ・エー全職員研修
	29	介護フォーラム(ドーンセンター)出席
		つながりフェスタ 参加
	30	はなまる事業部利用者家族説明会
11	18	ケアマネ連絡会 出席
	23	東北支援ポジティブキャンペーン 参加(長居公園)
12	3	はなまるケアプラン 研修 出席
	11	よってこ演奏会(よ)
		はなまるデイサービス家族会(よ)
	16	大阪ボランティア協会評議委員会 出席
1	15	生野就活フェア 参加
	20	有償移送報告会(梅田)
	23	地域福祉ミーティング 参加
2	4	市社協シンポジウム
	14	講演会「自己決定」出席
	22	阿倍野区ボランティアセンター運営委員会 出席
3	4.6	鶴見区社会福祉協議会「サロン講座」講師派遣
	8	阿倍野区総合事業説明会 出席
(F)エフ・エーさろん(よ)よってこサロン		

全国宅老所連絡会近畿ブロック会議	7/1.8/17.9/9
神戸全国フォーラム	2017/2/24
大阪宅老所・グループハウス連絡会世話人会	7/15.8/10.8/19.10/1.20.12/1. 2017/1/20.3/2.3/13
学習会等打ち合わせ	9/6.9/12.9/28.10/6.11/17.2017/2/14
学習会・講座・研修会	10/9.30.11/20.12/8. 2017.2/16.3/16
全国宅老所・グループハウス連絡会 全国フォーラム	2017/2/24
阿倍野区子育て支援連絡会 運営委員会	7/19.8/17.9/16.10/18.11/16.12/18. 2017/1/17.2/16.3/16
有償ボランティア団体連絡会	7/19.10/25.11/15. 2017/1/17.2/28
役員会	9/26. 2017/2/6
子育てボランティア養成講座運営委員会	2017.1/17.2/7
介護問題プロジェクト会議	8/4.8/21-22.10/1.11/1.20. 2017/1/19.2/21.3/7
親子フェスタ実行委員会	8/8

## 寄付

‘16年7月～‘17月3月

今回はFAサロンのエアコンが故障し、たくさんの方々からカンパいただきました。ご支援に感謝いたします。みなさんのご厚意で、30万を超える金額を頂戴いたしました。ありがとうございました。

西森 眞 瀬尾恵大 山崎時代 中西和子 中西康子 中野文子 細見裕子 柳 晴美 松本具子 田島ヒロミ 出雲憲子 高橋昌子 大庭イツ子 長福陽子 小森 森島美砂子 八尾螢子 堀辻諄子 竹島由美子 松富聡子 植松一恵 竹花敏子 中谷邦子 深井洋子 バジル・バジル 甚兵衛会 自治労大阪本部 茶楽会 さろんシスターズ ふんわりサロン 匿名 11名

FAさろんご利用者の皆様方

魚谷 原田 安東 藤中 堀内 三木 桜井 濱野 高井 能登 河本 川口 湯川 上垣 泉 児玉 村島 清水 藪谷 村山 吉田 永井 林 永井 小島 福德 小越 牛尾 横山 キャンベル 天野

順不同 敬称略



当団体では、活動を支えてくださる賛助会員を募集しています。年会費は1口2000円です。

2017, 5, 25 発行 発行所:特定非営利活動法人 エフ・エー 電話:06-6627-1977  
 住 所:大阪市阿倍野区阪南町 3丁目 31番 15号 定価:50円

## 「日常生活支援総合事業」始まりました！

～この事業の担い手はどこに？～

この4月から基本的に予防介護の訪問サービスやデイサービスの制度は介護保険から「日常生活支援総合事業」に移行しました。そして国の制度から地方自治体の事業に変わりました。その意味するところは、全国一律の介護保険サービスから、それぞれの市町村が我が町の状況にあわせて介護サービスを提供するという事です。まさに市町村の高齢者福祉施策の手腕が問われています。市町村によって大きな格差が出てくるでしょう。厚労省はいろいろなサービス案を提示して、市町村に取り組みを促しています。「住民主体の支え合い体制づくり」「多様なサービスの充実」「地域資源の協働・連携」などです。特に活用をうたっている「地域の担い手」は、2日間程度の「講習会」を受講し、有償ボランティアとして高齢者を支える住民を養成するとあります。ところが「講習会」を開いても、担い手は集まらない。くわえて、すでに活動している「たすけあい」「サロン」活動団体と連携して、「担い手」確保を目指すのか？という、それもしない。実効ある施策を考えないまま、形だけを整えているだけです。もっと増えていく高齢者の生活を、どのように地域で支えていくのかの道筋が示されないまま、制度が変わり、サービスメニューはそろえながら、どれも担い手がないという状況になりかねません。

エフ・エーの「たすけあい」、「サロン」は、地域のみなさんのご支援のもと、ずっと自主独立事業として活動してきました。厚労省も認める、これからもっとも地域に必要とされる活動です。今までの活動のつながりを大切にしっかりと運営していきますので、ぜひご支援をお願いいたします。

## 第18回 エフ・エー総会のお知らせ

6月11日(日)よってこサロン

午後1時30分～

会員・賛助会員の皆さんには個別にお知らせいたします。